

豊かな弥彦村を創る会



(小林とよひこ後援会だより)

第15号 平成28年6月25日

討議資料



武田芳久後援会長のあいさつ

皆さま、平素は後援会の運営に絶大なご尽力をいただき心より感謝を申し上げます。さて、来月10日には石川、阿部村議の辞職により補欠選挙が行われることになりました。村議会は、本年にはいりますます混迷を深め、その内容は目を覆うものであると感じているのは私ばかりではないはずです。今こそ弥彦村民の良識を村長選と同様に示すときとっております。立ち上がっていただいた二人の方は、清水の舞台から飛び降りる覚悟で出馬していただきました。当然、厳しい選挙戦が予想されます。二人の当選には、みなさまのお力が必要です。是非とも、みなさまのお力によって二人を村議会に送り出していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

丸山義晴氏、小林晴雄氏の新しい村議の誕生により、安定した小林村政の実現、さらには弥彦村の未来の基礎づくりに大きな力を発揮していただけるものと確信をしております。重ねて、みなさまのご支援をお願い申し上げます。

小林とよひこ後援会は

丸山義晴氏、小林晴雄氏を7月10日投票の村議会議員補欠選挙で当選を勝ち取るため、総力を挙げて選挙戦に突入します。今回の補欠選挙は弥彦村議会が、本当に村のことを第一に考える議会になるかどうかの関ヶ原の戦いです。

今度の村議会議員補欠選挙の争点はただ一つです。「弥彦村のため」「弥彦村民のため」の村議会議員を誕生させる。それだけです。「是々非々」という言葉は弥彦村議会を見ている限り、態の良い逃げ口上、誤魔化し口上です。途中で態度を変えてもらってはこまります。だから、あえて小林とよひこ後援会の方から立候補をお願いしました。これは、小林村長個人の応援団ではありません。「ただ、弥彦村を良くする」そのために、たまたま、後援会は同じ目的に向かって進む村民の皆さんの集まりだからです。

村民の皆さん、今年に入っての弥彦村議会は到底理解できるものではありません。世間の常識とは全く違うからです。



丸山 義晴

まるやま よしはる

昭和21年3月生 70歳 弥彦村村山1956
麓小学校 卒 弥彦中学校 卒
1961年(昭和36)富士通フロンティックに就職
2006年(平成18)3月 退職
弥彦村シルバー人材派遣センターの理事
弥彦村環境衛生委員 弥彦村清香会事務局長
趣味 菊作り

昭和20年(1945年)村山生まれ。その後、一度も村外暮らしをしたことなし。小林豊彦村長とは桜井郷保育園(興善寺)、麓小学校、弥彦中学校の同級生。昔から明るい性格、温厚、面倒見の良さで、同級生からも好かれる。同級生の豊彦が何もかも捨てる覚悟で村長選に立候補、当選しても、いまだに脂汗をかきながら悪戦苦闘踏ん張っているのを見るに見かね立候補を決意。清水の舞台の高さの3倍の高さから、飛び降りる気持ちで決断をしてくださいました。地味な性格ですが、弥彦シルバー人材センターの理事、弥彦菊祭りに欠かすことのできない弥彦村清香会事務局長、弥彦村環境衛生委員として活躍しています。欠点は村長と同じ歳をとっていること。でも元気です。

家族の長男一家は転勤で金沢市に在住、村山の家には奥さまと2人で住んでいます。



小林 晴雄

こばやし はるお

昭和24年10月生 66歳 弥彦村山岸805
矢作小学校 卒 弥彦中学校 卒
巻農業高等学校 卒
1968年(昭和43)弥彦村役場に就職
住民課、会計課、教育委員会等を歴任後
2005年(平成17)3月 退職
趣味 読書、ドライブ

昨年の村長選の最初から小林村長を全面的に支持。村民に都合の悪いことは一切ふたをし、村民をミスリードしていた前村長を厳しく批判。開かれた隠し事のない村政を目指した小林現村長を100%支持、支援、車いすの生活ながら精力的に動いてくれました。村長就任後2年目に入っても、なかなか村政改革が議会の一部議員の反対で進まないのに危機感を抱き、自らが犠牲になることを決断してくれました。もともと役場職員で行政実務について豊富な知識と見識を持っています。欠点は昔からその端正な顔立ちから冷たい、偉ぶっているとの印象をあたえること。実物は全然違い穏やかな優しい性格です。